

# 関東大震災から 100 年を迎えて

図 危機管理課 (千代田庁舎)



大正 12 年(1923)9 月 1 日、甚大な被害を出した関東大震災。今年は、その発生から 100 年の節目になります。主に火災により、10 万人以上の方が亡くなり、東京や横浜では 6 割の家屋が破損するなど、多くの住民が家族と住居を失いました。

もしも今、大地震が起きたら。あなたは自分や家族、仲間の命を守れますか？

災害は防げなくても、備えることはできます。再び同じことが起こったらどうするのか、それを考えることが大切です。過去の災害にしっかり向き合い、教訓を受け止め、いつか起こりうる災害に備えましょう。

関東大震災は、近年の大震災と比べても、その被害規模と社会や経済に与えた影響が極めて大きかったことが分かります。

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	大正12年(1923) 9/1 午前11:58	平成7年(1995) 1/17 午前5:46	平成23年(2011) 3/11 午後2:46
地震規模	マグニチュード 7.9	マグニチュード 7.3	モーメントマグニチュード 9.0
直接死・行方不明	約10万5,000人 (うち焼死約9割)	約5,500人(うち窒息・圧死約7割)	約1万8,000人 (うち溺死約9割)
災害関連死	—	約 900 人	約 3,800 人
全壊・全焼住家	約 29 万棟	約 11 万棟	約 12 万棟
経済被害	約 55 億円	約 9兆 6,000億円	約 16兆 9,000億円
当時の国家予算	約 14 億円	約 73 兆円	約 92 兆円

※参考：内閣府防災担当作成資料

## 指定避難所などを一部見直しました (令和 5 年 7 月)

市では、昨今の災害状況などを踏まえて、市民の生命と財産を守るための「地域防災計画」を改正しました。



計画の全編

施設名称	所在地	収容面積	収容人数
1 志筑小学校	中志筑 2112	677 m <sup>2</sup>	338 人
2 新治小学校	西野寺 736	621 m <sup>2</sup>	310 人
3 新治児童館	西野寺 51-1	187 m <sup>2</sup>	93 人
4 千代田中学校	上佐谷 990	1,200 m <sup>2</sup>	600 人
5 上佐谷小学校	上佐谷 1837	407 m <sup>2</sup>	203 人
6 七会小学校	上稲吉 182-2	609 m <sup>2</sup>	304 人
7 下稲吉小学校	下稲吉 1623-5	1,030 m <sup>2</sup>	515 人
8 下稲吉中学校	下稲吉 2273-2	717 m <sup>2</sup>	358 人
9 下稲吉東小学校	下稲吉 2286	672 m <sup>2</sup>	336 人
10 旧下大津小学校	加茂 4469	401 m <sup>2</sup>	200 人
11 霞ヶ浦南小学校	深谷 3360-1	529 m <sup>2</sup>	264 人
12 霞ヶ浦中学校	深谷 3398-2	1,430 m <sup>2</sup>	715 人
13 旧牛渡小学校	牛渡 2873	405 m <sup>2</sup>	202 人
14 旧佐賀小学校	坂 2039-1	408 m <sup>2</sup>	204 人
15 歴史博物館収蔵施設	安食 2235	408 m <sup>2</sup>	204 人
16 霞ヶ浦北小学校	下軽部 1232	1,278 m <sup>2</sup>	639 人
17 旧志士庫小学校	穴倉 1594	406 m <sup>2</sup>	203 人
18 かすみがうらウエルネスプラザ	穴倉 5462	1,030 m <sup>2</sup>	515 人
19 わかぐり運動公園体育館	新治 1813-2	1,015 m <sup>2</sup>	507 人
20 体育センター	深谷 3682-2	1,100 m <sup>2</sup>	550 人
21 千代田公民館	上佐谷 991-5	264 m <sup>2</sup>	132 人
22 千代田講堂	上佐谷 991-5	530 m <sup>2</sup>	265 人
23 農村環境改善センター	坂 934-1	459 m <sup>2</sup>	229 人
24 あじさい館	深谷 3719-1	1,034 m <sup>2</sup>	517 人
25 働く女性の家	稲吉 3-15-67	492 m <sup>2</sup>	246 人
26 旧牛渡地区公民館	牛渡 2862-3	208 m <sup>2</sup>	103 人
27 旧安飾地区公民館	安食 1075-1	222 m <sup>2</sup>	109 人
計 27 施設		17,739 m <sup>2</sup>	8,861 人

施設名称	所在地	収容面積	収容人数
1 旧志筑小学校	中志筑 2112	677 m <sup>2</sup>	150 人
2 旧新治小学校 教室棟・特別教室棟	西野寺 736	592 m <sup>2</sup>	131 人
3 新治児童館	西野寺 51-1	187 m <sup>2</sup>	41 人
4 千代田義務教育学校	上佐谷 990	1,200 m <sup>2</sup>	266 人
5 旧上佐谷小学校	上佐谷 1837	407 m <sup>2</sup>	90 人
6 旧七会小学校	上稲吉 182-2	609 m <sup>2</sup>	135 人
7 下稲吉小学校	下稲吉 1623-5	1,030 m <sup>2</sup>	228 人
8 下稲吉中学校	下稲吉 2273-2	717 m <sup>2</sup>	159 人
9 下稲吉東小学校	下稲吉 2286	672 m <sup>2</sup>	149 人
10 霞ヶ浦南小学校	深谷 3360-1	529 m <sup>2</sup>	117 人
11 霞ヶ浦中学校	深谷 3398-2	1,430 m <sup>2</sup>	317 人
12 霞ヶ浦北小学校	下軽部 1232	1,278 m <sup>2</sup>	284 人
13 旧志士庫小学校 特別教室棟・食堂	穴倉 1594	396 m <sup>2</sup>	88 人
14 かすみがうらウエルネスプラザ	穴倉 5462	1,030 m <sup>2</sup>	228 人
15 わかぐり運動公園体育館	新治 1813-2	1,015 m <sup>2</sup>	225 人
16 体育センター	深谷 3682-2	1,100 m <sup>2</sup>	244 人
17 千代田公民館	上佐谷 991-5	264 m <sup>2</sup>	58 人
18 千代田講堂	上佐谷 991-5	530 m <sup>2</sup>	117 人
19 農村環境改善センター	坂 934-1	459 m <sup>2</sup>	102 人
20 あじさい館	深谷 3719-1	833 m <sup>2</sup>	185 人
21 働く女性の家	稲吉 3-15-67	492 m <sup>2</sup>	109 人
22 旧牛渡地区公民館	牛渡 2862-3	208 m <sup>2</sup>	46 人
23 旧安飾地区公民館	安食 1075-1	222 m <sup>2</sup>	49 人
24 旧下大津地区公民館	加茂 4472	119 m <sup>2</sup>	26 人
25 やまゆり保育所	五反田 298-20	1,086 m <sup>2</sup>	241 人
26 わかぐり保育所	下稲吉 519-2	526 m <sup>2</sup>	116 人
27 第一保育所	深谷 3667	360 m <sup>2</sup>	80 人
28 大塚児童館	下稲吉 1868-22	325 m <sup>2</sup>	72 人
29 千代田義務教育学校 児童クラブ	上佐谷 990-74	189 m <sup>2</sup>	42 人
計 29 施設		18,482 m <sup>2</sup>	4,095 人

●新型コロナウイルス感染症対策のため、避難者 1 人あたりの面積を変更  
1 人あたり 2 m<sup>2</sup> → 1 人あたり 4.5 m<sup>2</sup> として計算

※色が付いているところは、見直しを行った箇所を表しています。

## 大地震発生！そのときどうする？

### 室内にいる場合



**地震発生**

**1~2分** 建物の中

- まずは身を守り安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- 素早く火元を確認 (ガスの元栓、コンセント、ストーブ)
- 室内にいたことが危ないと判断した場合、素早く屋外の安全な場所に一時避難

**揺れが収まったら ※余震に注意**

- 火が出たら落ち着いて初期消火
- 家族の安否 (家具の下敷きになっていないか) を確認
- ガラスの破片でけがをしないよう、靴をはく
- 避難する時は、屋根瓦やブロック塀などに注意

**3分** みんなの無事を確認 / 火災の発生を防ぐ

**隣近所に声を掛ける**

- 隣近所で助け合い、要配慮者の安全を確保
- 行方不明者やけが人がいないか確認

**出火防止・初期消火**

- 消火器を使う
- 座布団・毛布・大きめのタオルなどを活用
- 漏電・ガス漏れに注意 (電気のブレーカーを切る、ガスの元栓を閉める)

**ポイント** バケツリレーができるよう、日頃から風呂の水を貯めおきしておきましょう (乳幼児の転落防止に注意)

**テレビやラジオなどで正しい情報を取得する**

- デマに惑わされず、行政などからの情報を確認
- 電話は緊急連絡を優先する

**協力して消火・救出・救護活動を**

- 水や食料は蓄えているものでまかなう (3日~1週間)
- 風呂の水を貯めおきしておく (特に高層マンション居住者)
- 助け合いの心が大切

**5分**

**10分**

**数時間**

**3日**

### 屋外にいる場合

**路上**

- 窓ガラスや看板などの落下物から頭をカバンなどで保護し、空き地や公園などに移動
- 電柱や垂れ下がった電線に注意

**車の運転中**

- 徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保して道路左側に止め、エンジンを切る
- 鍵は抜かず、ドアロックもしない

**電車などの車内**

- つり革や手すりに両手でつかまる
- 乗務員の指示に従って行動する (非常コックを開けて勝手に外へ出たり、窓から飛び降りたりしない)

### ポイント①

#### まずは「難」を「避」ける

平成 25 年 6 月の災害対策基本法の改正により、切迫した災害の危険から逃れるための「指定緊急避難場所」と、その後の避難生活を送るための「指定避難所」が区別されました。

まずは、「難」を「避」けるため、安全な避難場所に避難しましょう。

#### 【避難方法の例】

パターン A: 行政区などの集会施設などに避難 (集合) する。

※災害時、家屋の倒壊などにより避難路が寸断し、市の指定緊急避難場所へたどり着けないことなども考えられるため。

パターン B: 地域内の住民同士がみんなでお互いに助け合いながら、市の指定緊急避難場所に避難する。

●市では、現在 46 カ所の指定緊急避難場所と、29 カ所の指定避難所があります。

※市総合防災マップやホームページから確認できます。



避難所情報

### ポイント②

#### 市からの情報を取得する

災害発生時はいち早く「信頼できる情報 (行政などからの情報)」を取得することが重要です。

市では、防災行政無線やメールマガジン、アプリや X (旧ツイッター) など、災害情報・避難情報を配信しています。

このタグを付けて投稿すると、市内の情報を収集しやすくなります

#### X (旧ツイッター)

かすみがうら市の災害用ハッシュタグ  
#かすみがうら市災害



メールマガジン



市公式アプリ

